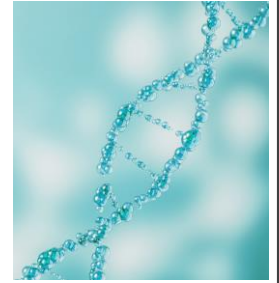


2023年9月6日
株式会社SVPジャパン

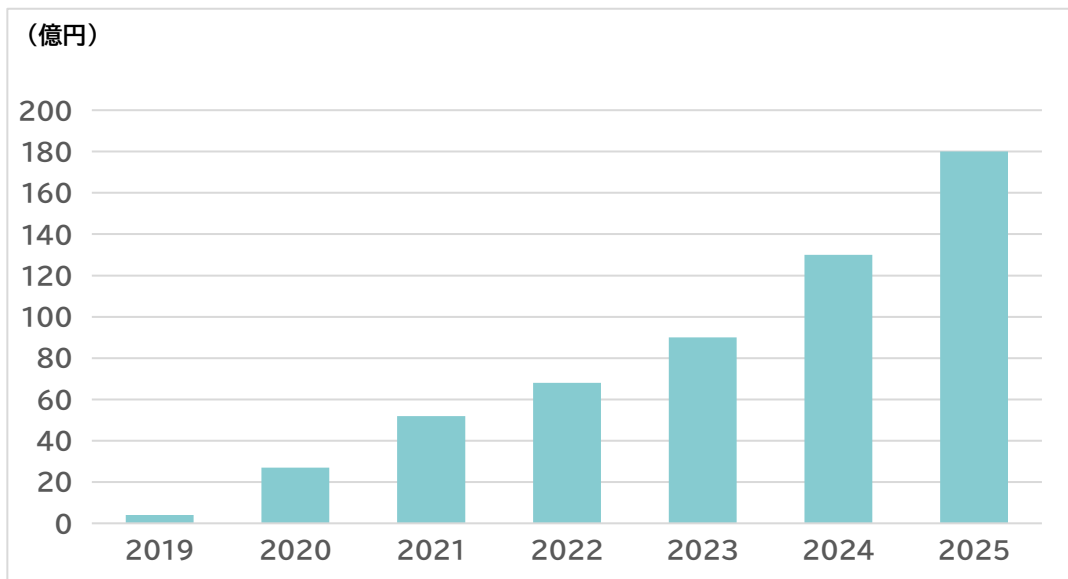
SVP注目市場分析 「遺伝子治療薬」を公開

～最先端のバイオ医薬品の1つとして、人の遺伝子を利用する～



会員企業に対して公開情報を用いたビジネス情報提供を行う、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポートの「遺伝子治療薬-国内市場の現状と将来展望-」について会員企業向けに公開いたしました。

■ 遺伝子治療薬の国内市場



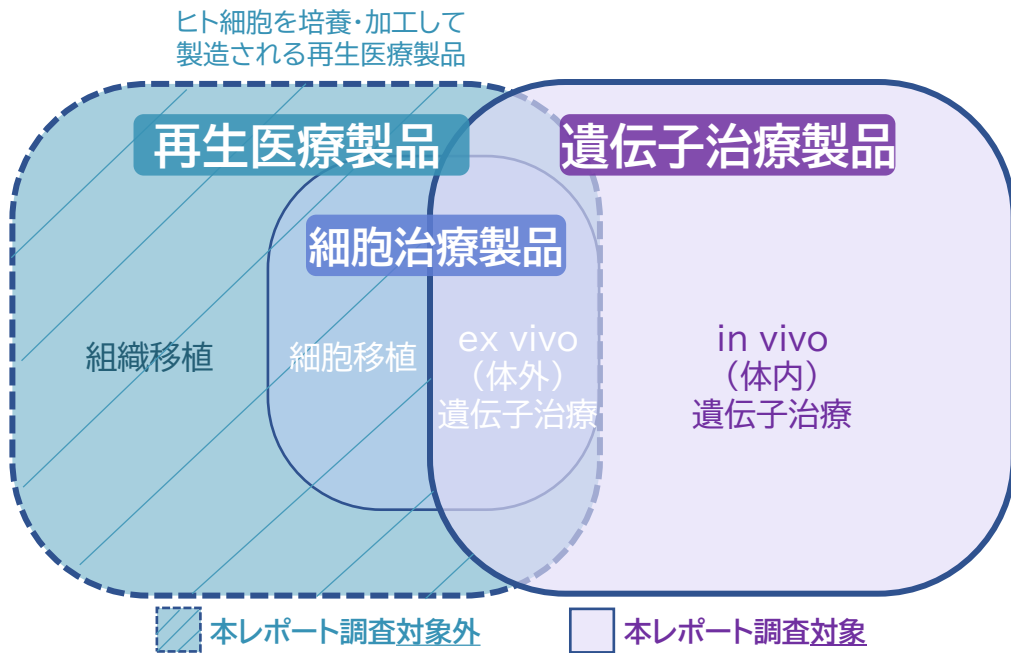
遺伝子治療薬の2022年度の市場規模は、メーカー出荷金額ベースで約68億円と推定される（薬事承認を受けて、保険適用の下で販売されている製品が対象）。市場が立ち上がった2019年から順調な市場の拡大が続いている。

ただし、現時点では、高額な遺伝子治療薬の本格的な導入に先行したノバルティス ファーマの2製品が売上の大半を占めている。薬事承認を受けて発売された製品がまだ少ない上、発売された製品でも、少数の限定された医療施設向けの販売で、売上規模が比較的小さい製品が多い段階である。今後の予測として、これまでに発売された製品のピーク時売上予測などから、2025年には180億円程度の市場規模に拡大すると予測する。

■ 遺伝子治療薬の市場概況

- ・遺伝子治療薬は、実用化されている製品はまだ少ない。国内初の製品が薬事承認を受けて発売されたのは2019年であり、これまでに5社の8製品が発売されている。
- ・具体的な製品の動向として、2019年にアンジェスの「コラテジェン」、ノバルティス ファーマの「キムリア」が承認され、保険適用を受けて発売されたことで市場が立ち上がった。
- ・「コラテジェン」は、重症虚血肢（重度の動脈硬化で足の血管がつまる病気）を対象とするin vivo遺伝子治療用の製品である。ただし、条件及び期限付承認であり、本格的な販売には至っていない。
- ・より長期的には、新たに承認を受ける企業・製品の増加が続き、市場が大幅に拡大していくと見込まれる。難病や遺伝子性疾患の治療薬の他、CAR-T細胞製品の潜在市場も大きい。

再生医療等製品の分類イメージ



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造

■ 本レポートの購読について

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。
ご希望の場合は、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

[お問い合わせは、こちらをクリック](#)



資料請求

お問い合わせ

[SVP会員の方は、こちらをクリック](#)



会員サイト

■ 次回のテーマ

10月のテーマは、「ヘルステック（バイタルセンシング・ウェアラブル端末）」と「ヘルステック（オンライン診療システム）」です。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール・・・毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン デジタルマーケティング部
info@svpjapan.com